KARIYA かりや市民だより
No.2253

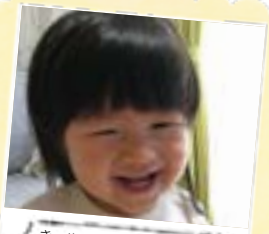
みんなの参加コーナー

赤ちゃん登場！

原木絢士（はらきあやと）くん
平成31年3月3日
下重原町

多賀　渚（たがなぎさ）くん
平成31年3月6日
東陽町

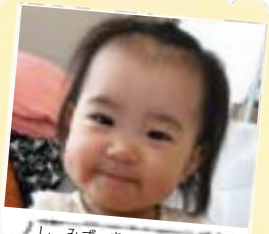
冨田啓統（とみたけいと）くん
平成31年3月17日
大手町



木山結月（きやまゆづき）ちゃん
平成31年3月18日
新富町

本村知紗希（ほんむらちさき）ちゃん
平成31年3月21日
小垣江町

浅野結斗（あさのゆいと）くん
平成31年3月22日
恩田町



清水希帆（しみずきほ）ちゃん
平成31年3月26日
神明町

中小路浬（なかしょうじかいり）くん
平成31年3月29日
一ツ木町

ギャラリー

「ブランコであそんで
たのしかったよ」

平成幼児園 5歳児 稲田隼人（いなだはやと）くん

ブランコであそんでたのしかったよ。すわってのったんだよ。すわるところをかくのがさいごになったから、どうかこうかかんがえてかいたよ。

「世の中のことに…」

東刈谷小学校　6年 角岡太智（つのおかたいち）さん

ぼくがこの作品で工夫したことは、筆の太さを変えて迫力のある作品にしたことです。筆の迫力を印象づけるために、色もうすくぬりました。

ご覧になりたい方はこちら▶

こんにちは！

小垣江ちゃらぼこ保存会代表

小垣江町 石川富夫（いしかわとみお）さん（71）

昭和34年の伊勢湾台風によって一度は途絶えてしまったちゃらぼこを復活させようと、平成元年に有志を集めてちゃらぼこ保存会を立ち上げ、以降約30年間保存会の代表として伝統を継承している石川さん。ちゃらぼことは、真ちゅうの胴の両側の皮を金具で締めた太鼓を使用する形態のおはやしで、小垣江町の祭礼の際に神社に奉納されるものです。「小学生の時に囃子車（はやしぐるま）の綱を引いて、宮入りしたことを今でも思い出します。その景色をもう一度見たいという思いでこれまで続けることができています」と活動の原動力を語ってくれました。かつて、ちゃらぼこに参加していた先輩に口伝えで教わり、今では13ほどの曲を演奏しています。

「再び途絶えることがないように活動したい」という思いから後継の育成にも積極的な石川さん。保存会を発足してから数年後には地域の小学校のクラブ活動となり、地元の子どもたちも笛や太鼓に触れることが多くなりました。また、「参加したいとき参加するというスタンスで、緩やかなつながりでやっていきたい」と気軽に来ることができるような気風作りも行ってきました。このおかげで、かつて小学生だった子どもが高校生や大学生になっても参加し、保存会のメンバーも大きく減少することがなく今に至っています。

「小垣江のちゃらぼこには、世界で小垣江でしか聞くことのできない曲が数曲あるので、先人が守り伝承してきた曲を今後も伝承していきたい」と未来を見据えます。

かりや市民だより（令和2年9月1日発行）
編集・発行／愛知県刈谷市企画財政部広報広聴課　〒448-8501　刈谷市東陽町1-1